



matoi

2024. 春号
木更津市消防団だより

発行元
木更津市消防団
TEL 22-0119
(警防課)
2024年3月発行
VOL.37



木更津市
ホームページ
消防団だよりへ



木更津市消防団
機能別分団学生部



操 法 大 会

令和5年6月11日(日)旧市役所敷地内にて操法大会を5年ぶりに開催しました。今回は試みとして参加の可否を各部の判断で、できるようにしました。その結果、過半数の出場申込があり、盛大に開催することができました。



大会の結果

- ▽優 勝 4分団3部(久津間)
- ▽準優勝 1分団2部(太田・請西)
- 《小型ポンプの部》
- ▽優 勝 5分団3部(高倉・草敷)
- ▽準優勝 2分団5部(上烏田)
- ▽第3位 5分団2部(下矢那)

優勝チーム紹介

《ポンプ車の部》4分団3部 (久津間)

- 指揮者 高品 順一
- 1番員 飯塚 歩
- 2番員 鳥我 龍太郎
- 3番員 徳永 敏勝
- 4番員 飯塚 春樹

4分団3部 部長 岩崎翔太

今大会は5年ぶりの開催となる中で、おかげさまをもちまして優勝という結果を得ることができました。

例年に比べ限られた期間での訓練ではありましたが、優勝という結果を残してくれた選手たちと、団結し渾身のサポートを行ってくれた団員全員に感謝いたします。

また、その間にも激励・応援をいただきました地域の皆様やOBの方々、そして団員家族の皆さんに誌面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。今後もこの経験を糧に地域の安心・安全のために訓練し、操法技術の向上のみならず消防団員としての自覚を持って消防団活動に励んで参ります。



《小型ポンプの部》5分団3部 (高倉・草敷)

- 指揮者 渡辺 利希弥
- 1番員 加藤 祐輔
- 2番員 平野 茂晃
- 3番員 渡邊 重樹

5分団3部 部長 加藤祐輔

前回支部大会の悔しさを胸に今大会では必ず優勝し、「県大会出場」を目標に臨みました。大会に向けて選手、団員一同が一致団結し、約3ヶ月間、消防職員の方々による熱心なご指導、そして5分団を始めとした消防団、地域の皆様のご協力のもと練習に励み、優勝し、支部大会へ出場できたことを嬉しく思います。

この強い団結力を今後の消防団活動、地域防災に活かしていきたいです。



消防出初式



木更津市消防出初式が、令和6年1月14日(日)旧市役所敷地内で行われました。当日は晴天に恵まれ、多くの来場者で賑わいました。

式典では消防団員を家庭で支えていただいた方への「内助功労」や、功績のあった消防団員への表彰を行いました。



また、子ども向けの消防広場では、木更津市の「きさポン」をはじめとするマスコットキャラクターが集合し、来場したこどもたちには、はしご車搭乗体験や放水体験など、大喜びでした。

出初式最大の見せ場は、災害救助を想定した消防署員、団員による連携総合訓練であり、千葉市消防局防災ヘリコプターによる消火訓練など、実際の災害現場のような緊張感と迫力がありました。



昨年の 伊豆島での 火災について

令和5年8月6日に、木更津市伊豆島で、近年木更津市で発生した火災の中でも最大規模の火災が発生しました。

火災発生から鎮火までに約24時間を要し、消防団もこの消火活動に出動しており、活動状況について紹介します。

当時の動き

火災は、木更津市伊豆島にある金属製品などの再生資源物を回収し、たい積しているいわゆる「ヤード」の事業場で発生したもので、たい積していた再生資源物から出火したものでした。

消防団の出動体制ですが、第一、第二、第三出動と段階があり、通常、火災が発生した地元消防団が出動する第一出動が最初となります。その後、火災の規模に応じて、近隣の消防団が出動する第二出動、さらに部隊を追加する第三出動となります。

8月6日の火災発生当初は第一出動となっていました。13時12分には第二出動、14時30分には、第三出動へと切り

替わり、更に多くの消防団が現地での消火活動に加わりました。

この火災では、消防本部が火災の通報を受けた「覚知」が12時14分とされており、その後、消防本部や消防団により消火活動が開始されました。ニュース等でヤード火災の報道映像にもありますが、たい積した再生資源物に一度火がついてしまうと直接放水をしても、簡単には消火できません。そこで本火災においては、重機によってたい積物を少しずつ切り崩し、これに放水して消火する作業を繰り返している、消火までに非常に長い時間が掛かりました。

長時間の消火活動の結果、火災の勢いが弱まった状態を指す「鎮圧」が翌7日の深夜3時57分、火災が消火され、消火活動が必要なくなった「鎮火」状態となったのが同日の12時3分となっており、「覚知」から「鎮火」まで約24時間を要したことからも、大規模な火災であったことが理解いただけるかと思えます。消防本部でも消火隊や救助隊が出動しており、長時間の活動であったことから、消防車両の燃料補給等、交代しながら消火作業に当たっており、合計11隊が出動しました。消

防団も合計25個部が出動しました。

なお、消火活動の進捗状況により、活動する消防団の数は縮小し、最後の消防団が現場を撤収したのは、同日12時でした。



消防団の活動内容

消防団の活動内容ですが、火災発生場所周辺には、いわゆる「水利」となる消火栓・防火水槽・河川が近くに無く、

火災現場まで水を送るため、消防本部と協力しながら、消防車や小型ポンプによる「中継送水」を行っていました。また、部によっては、直接火災現場への放水活動も行っています。



今回の火災では、長時間にわたる消防団活動となり、部によっては団員が足りず、一人ひとりの負担が大きく、団員数の減少による影響を顕著に感じました。

消防団活動の課題

消防団員のほとんどが、本業を持っています。また、その多くは会社員等で、本業の傍ら活動を行っています。通常の建物火災では、活動時間が数時間程度ですが、今回の火災では、2日間に渡った活動となり、日曜日の昼間に発生した火災で、翌日の月曜日まで活動することになりました。このような場合、急に仕事が休めない団員は、本業に支障が出ないように帰宅したいところですが、しかし、少ない人数で活動している中では交代要員を確保することができず、撤収もできないことから、仲間を使い無理をして活動している団員がいることも事実です。

現場に出動している団員に多大な負荷がかかることとなる現状では、今後想定される大規模災害発生時には、長時間にわたる活動を、どのように対処していくかが大きな課題であると考えられます。

早出し放水 競技大会

令和5年11月12日(日)旧
市役所敷地内にて早出し放水
競技大会を開催しました。
資機材の安全な取り扱いと
迅速さを競い合いました。



大会の結果

《ポンプ車の部》

- ▽優 勝 4分団3部(久津間)
- ▽準優勝 1分団2部(太甲・諫箇)
- ▽第3位 2分団1部(桜井・小浜)



《小型ポンプの部》

- ▽優 勝 2分団5部(社嶋田・)
- ▽準優勝 7分団3部(牛井・高根・)
- ▽第3位 8分団1部(真里・大稲)
- ▽第4位 4分団2部(江川)
- ▽第5位 4分団4部(万石)
- ▽第6位 7分団2部(大寺・市場)



木更津警察
署長から感謝状が
贈呈されました。

令和5年12月、木更津市真里谷地区にて行方不明者事案が発生。木更津市消防本部と協力し、最終目撃地点付近や山間部を中心に、消防団は人海戦術、消防本部はドローンにて上空偵察にあたるなど懸命な搜索活動を行い、行方不明者を無事に発見し、木更津警察署長から感謝状を贈呈されました。今後も火災警戒だけでなく、搜索活動や防災普及活動などにも力を入れ、地域防災の要として市民の安心安全のため尽力して参ります。



消防団員募集

地域の防災リーダー
消防団員募集!
(随時募集中)

木更津市消防団では、消防団員を募集しています。

「自分たちのまちは、
自分たちで守る。」

共助の中心となり、地域
防災のため活動しましょう。
消防団は誰にでも参加でき
る活動です。

そんなあなたのチカラが
消防団には必要です。会社
員の方、自営業の方、主婦
の方など、性別・職業を問
わず、色々な方が参加して
います。

木更津市では、基本分団
のほかに機能別分団女性部
学生部、大規模災害部があ
ります。この機能別消防団
はより多くの市民が消防団
活動に参加できるよう役割
を特化し、時間の許す範囲
で活動を行うことができる
制度で、全国的に導入され
ています。

急手当指導員として市民への
救急講習などの普及啓発活動
や市内中学生に向けた防火防
災意識の普及啓発活動、災害
時における後方支援活動を目
的として、現在活動中です。

機能別分団学生部は、大学
生・専門学校生等で組織され、
学生特有の充実した気力、ポ
ランテニア精神力、優れた吸
収力を活かし、防火防災意識
の普及啓発活動を目的として
活動しています。

機能別分団大規模災害部は、
元消防職団員で組織され、今
後発生が危惧される首都直下
地震や南海トラフ巨大地震な
どの大規模災害に備えるため、
大規模災害時の活動を行うこ
とを目的として活動していま
す。

木更津市に在住、在勤、ま
たは在学する18歳以上で、健
康な人なら誰でも入団できま
す。
みなさまの入団お待ちしております。

機能別分団女性部は、応